

# 光市医師会報

平成8年5月号

No. 283



丘の碑

光市医師会

## 役員協議会報告

## 第128回定例代議員会の報告

会長 近藤 龍一

4月25日、県医師会館で行われました。例年と同じく事業報告と平成8年度予算案が提出され、異議なく承認されました。とくに目新しいこともなく、くわしくは会報をご覧ください。県医も日医も共に会費の値上げはないとのことでした。

関連質問がありましたので、2・3報告いたします。やはり、集団指導についての質問が多く、「萎縮診療に陥る危険がある。高点数が必ずしも悪いということではなく、指導により療養担当規則や点数表に違反していないことが明らかになったものは再指導の対象にしないでほしい。」といった意見がなされました。それに対して県医は「全く同感である。選定委員会に医師会の意見を入れるように強く申し入れてある。高点数になるのはある意味で当然で、県へ慎重な対応を要請している。尚、この制度は5年後に見直しをすることになっているので、その時には会員の意見をきいて対応したい。」との解答でした。

或いは5年後には廃止されるのかもしれ

ません。

又、4月より導入された外総診について、「糸氏副会長は『包括性には大きなワナがある。』といているが、そのワナとは何か。」との質問に、「包括制のデメリットとして、1) 行政によるコントロールをうける。最初は高価格をつけておいて、後で徐々に切り下げられる。2) 当然制限診療となり、最高の治療が行えない。3) 医療内容の開示を迫られる。メリットとして、1) 事務が簡素化する。2) 収入と支出の関連が明確となる。」と答弁がありました。包括制に対しては日医は徐々に容認する方向にあり、次回の改訂では全面導入されるのかもしれませんが。県医より、包括性になると粗診粗療になる危険がある。もしそうになると住民の信頼を失い、医師の社会的地位の低下を招くので、診療内容を変更しないよう呉々も注意して欲しいとの要望がありました。その他の質問については、会報をご覧ください。



## 〈学会紹介〉

## 日本内科学会第93回講演会（横浜）

河村 康明

今回、編集の吉村先生に御無理をお願いして学会の紹介スペースを作っていただきました。会員が目で見、肌で感じた様々な学会の過去・現在・未来を紹介しながら輪を広げていけば良いのではないかと考えています。開業医にとって学会の新しい知識を吸収することは大切な事なのですが、残念ながらほとんどの学会は予算の関係でウイークデイ開催であり、なかなか出席できません。その中では比較的、内科学会は好意的であり、今回も土曜日が含まれていましたので、開業医の参加もかなり見られました。場所はパシフィコ横浜。桜木町駅から歩いて10分で左に日本一の高さのランドマークタワー、右に帆船日本丸をながめて致着。首都圏の学会は現在のところ、パシフィコ横浜が幕張メッセで開催されるのが定番であるが、東京駅から1時間以上かかるので地方からだとやや不便である。来年3月には有楽町の旧都庁跡地に東京国際フォーラムが完成するのでやや便利になるでしょう。

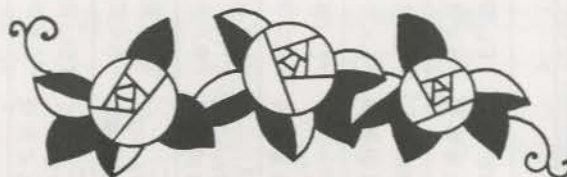
さて、内容は内科全般にわたるシンポジウム・教育講演・招待講演があり、一般演

題は全てポスター展示であった。それぞれの内容は分子生物学、遺伝学的手法を用いた研究が最先端の学問となっている。私の目を引いたのは、プリオン病の講演が入っていた事であった。学会のテーマは1年前にほとんど決定されるのに、タイムリーにイギリスで狂牛病の事件がおこった事でもあり、羊(スクレイピー)、牛(狂牛病)、人(クロイツフェルト・ヤコブ病)の関連も含めて注目される。残念ながら、講演は聞けなかったが、ビデオ販売(5000~7000円)されていたので、医師会でも買ってもらえたらと思いました。

また今回は大きなテーマにはなっていないが、感染症が見直される時期にきているのではないのでしょうか？

胃潰瘍、胃癌、悪性リンパ腫とヘリコバクターピロリ、今回のプリオン病に限らず、最近では動脈硬化もクラミジアの関与がさやかれている。今後の進展が楽しみである様な、不安でもある様な気がしました。

今回は簡単な学会報告でしたが、次第に実のあるものとなればと思いつつ書いてみました。

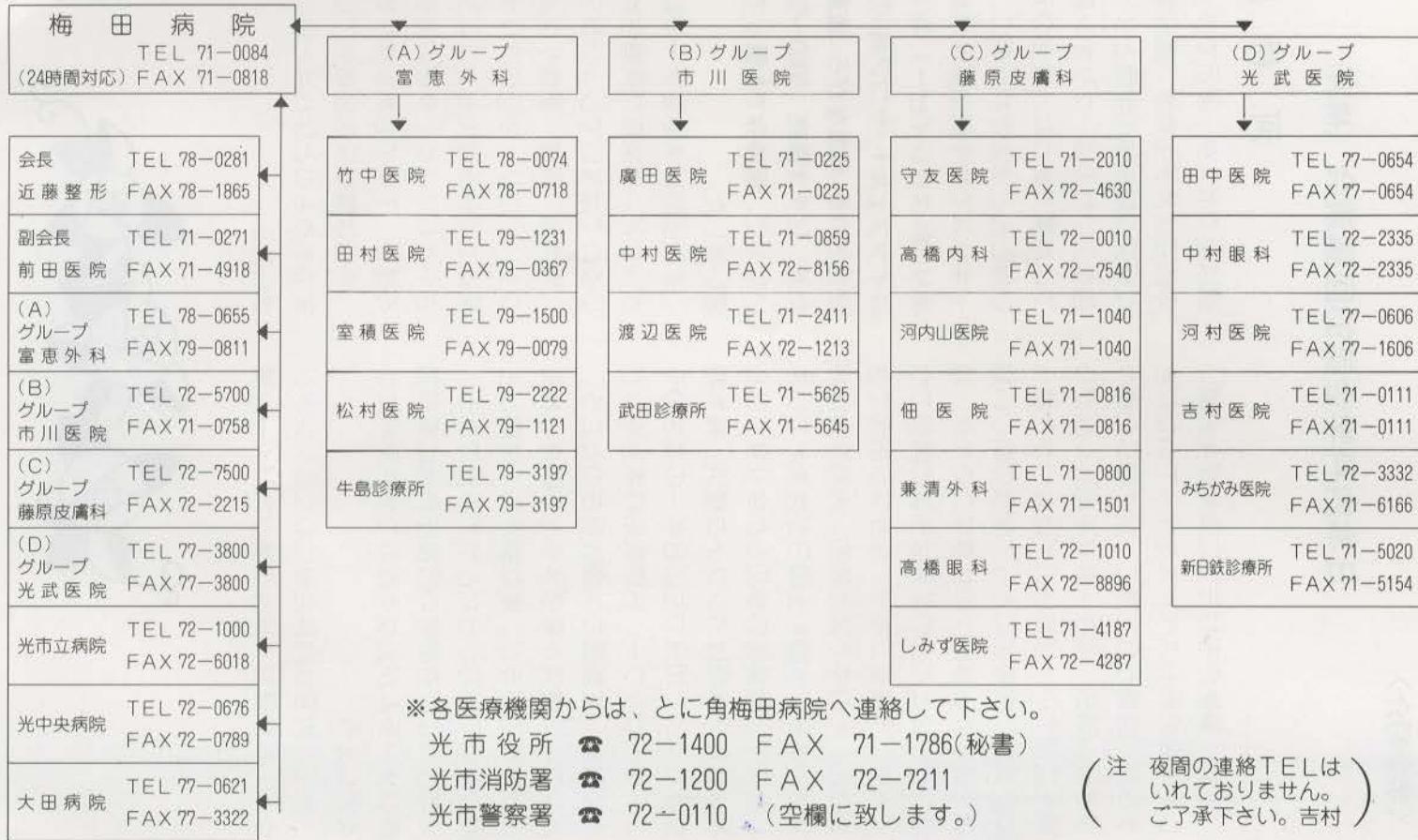




# 光市医師会 (事故等) 緊急電話連絡網

事務局 TEL 72-2234  
(夜間は留守電) FAX 72-6882

H. 8. 4. 15. 現在



## 新入会員紹介

### 鎌田 清治

光市立病院泌尿器科



今年の4月1日より光市立病院泌尿器科に勤務しております。昭和63年3月に山口大学を卒業し、今年で9年目の33才です。今年の3月までは徳山中央病院泌尿器科へ勤務しておりました。

光市立病院での外来担当日は火曜日と金曜日で、土曜日は隔週で診察しています。大学時代は軽音楽部に所属し、トロンボーンを担当していました。大学院では泌尿器科領域の中でも主に男性不妊症について研究していました。光市立病院泌尿器科では一般的泌尿器科疾患もさることながら、腎炎、ネフローゼ、腎不全といった内科的腎疾患についても診療いたしております。症例がございましたらいつでも御紹介いただけたらと思います。

光市は徳山市と比べ空気がきれいでも海も近く、環境的には申し分ありません。家族は妻と娘(2才)の3人ですが、環境がよいので娘も毎日外で楽しく遊んでいるようです。私も少々重量オーバーですのでこちらでは運動をしてダイエットにはげみたいと思っています。

今後共よろしくお願ひ申し上げます。

### プロフィール

出身地—山口県吉敷郡

出身校—山口大学医学部

職 歴—周東総合病院

山口大学附属病院泌尿器科

下関市立中央病院

社会保険徳山中央病院

### 金子 美保

光市立病院小児科



平成8年4月1日より光市立病院小児科医として着任致しました。光市医師会の皆様にはお初にお目にかかります。

宇部で生まれ育ち、山口での教養時代以外は親元を離れたことのない私が、この度初めて外に出て一人で生活していくことになり、この歳になって不安にかられていました。が、大好きな海が目と鼻の先にあり、横山先生という良き指導者のもとでいろいろ

ろな勉強をさせていただいています。他科の先生方、看護婦の皆さん、その他多くのスタッフに支えられ、それに何といっても子供たちの笑顔に支えられて、不安な気持ちも小さくなって何とかやっています。

医師としてはもちろん、社会人としてもまだまだ未熟者ですが、多くの人に助けられながら、いつかはお返しできるように、誰かの役に立てるようにがんばっていかうと思っております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

#### プロフィール

出身地—山口県大津郡

出身校—山口大学医学部

職歴—山口大学附属病院小児科

#### 医師会へ図書購入のお知らせ

- 1) 基本医療六法—(平成8年版・中央法規)  
民法、刑法、医師法、医療法、薬事法、  
伝染病法、食品衛生法、健康保険法等  
の基本的な医事法律の本です。
- 2) 健康政策六法—(平成8年版・中央法規)  
医療法人、診療放射線技師法、老人保  
健法、消防法、労働基準法等の周辺領  
域の法令・施行規則、書式等の本です。

### 4月定例理事会

日時：4月10日(水) 午後7時30分～

場所：光市医師会事務局

出席者：近藤、前田、梅田、赤崎、藤原  
光武、松村、河村、吉村

議題：

- 1) 平成8年度の事業計画について  
(近藤会長)

①休日診療所への対応

②福祉行政への対応

③看護教育の問題

④災害シュミレーション

⑤従業員とのレクリエーションのありか  
たの検討

- 2) 平成8年度の予算の策定と検討  
(近藤会長)

- 3) KRY山口放送からの申し込みについて  
(近藤会長)

現在放送中のある健康番組を医師会に提  
供したいとの申し込みがあったが「協力  
はする」という回答にとどめる。

- 4) その他

イ) 平成8年医師出務報酬の件  
下松市に合わせる

ロ) 救護班の件

ハ) 保健センターへの医師連絡票の件  
ニ) 定時総会の日時の件

### 勉強会

#### レントゲン勉強会 (第10回)

日時：4月2日(火) 午後7時～

場所：光市医師会事務局

出席者：8名



講師：徳山中央病院 岡本安定先生  
岡本先生の症例、会員の症例を岡本先生  
が解説された。

### 心電図研究会 (第94回)

光市・下松医師会合同  
日時：4月12日(金) 午後7時30分～  
場所：光商工会館  
出席者：9名  
症例：

- 1) 41才、♂、主訴一不整脈、診断一発作性上室性頻脈
- 2) 48才、♂、7年前に胸痛・呼吸困難があった。現在は特記症状なし、診断一  
下壁梗塞
- 3) 36才、♀、主訴一易労感、診断一心房細動、完全右脚ブロック

### 4月例会

日時：4月23日(火) 午後7時～  
場所：光商工会館  
出席者：21名

#### 〔研修会〕

演題「ヘリコバクター・ピロリ菌の  
臨床及び最近の知見について」  
講師 周東総合病院、岡崎幸紀先生



### 4月度医師会月間行事

日	行 事	場 所
2	レントゲン勉強会	医師会事務局
10	4月定例理事会	医師会事務局
12	心電図研究会	光商工会館
23	4月例会・研修会	光商工会館

### ⅢⅢ あとがき ⅢⅢ

緑の大変美しい季節を向えております。

行楽や運動で汗を流すのに快適な時候です。しかもうしばらくすると、うっとおしい梅雨が待っております。季節の変わりゆく時に自然のロマンのようなものを感じさせます。  
(吉村)

